

# ひろの防災緑地の供用開始！



様式2

富岡土木事務所 道路・橋梁課  
技師 園分俊和

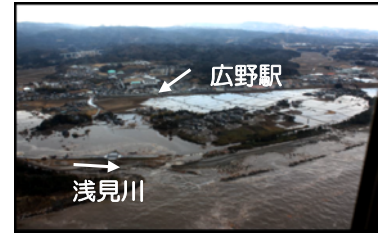
～ひろの防災緑地とサポーターズクラブの関わりを中心に～

施工場所：双葉郡広野町

## 1. はじめに

H23.3.11  
東日本大震災発生

- ・浜通りで甚大な津波の被害
- ・海岸保全施設が決壊し、海岸防災林が流出
- ・広野町沿岸部は約9mの津波が襲来、2名が死亡し、1名が行方不明



高さ8.7mの防潮堤・10.5mの広野小高線・10.7mの防災緑地の多重防衛で広野駅東地区を守る

## 2. 防災緑地とは

○防災緑地・・・盛土と植栽により津波を減衰する効果を持つ都市緑地

- 防災緑地の3つの機能・・・
- ①**防災機能** i) 津波を減衰し、浸水被害範囲を軽減し、避難時間を確保する  
ii) 津波による漂流物を捕捉し、漂流物の衝突による被害を軽減する
  - ②**地域振興機能** 海洋レクリエーションや自然とのふれあいの場として活用する
  - ③**景観・環境の再生・形成機能** 地震や津波で失われた景観や環境の再生・形成する

○ひろの防災緑地の特徴

- ・全長約2km 全体盛土量 約38万m<sup>3</sup> 植栽本数 約6万本
- ・植栽樹種 クロマツ、クヌギ、コナラ、等
- ・福島県初の**防災緑地**（福島県全10箇所）H28.12.7に一部を除き供用開始
- ・工事期間約3年
- ・**ひろの防災緑地サポーターズクラブ**という、県や町と連携しながら**防災緑地**を維持管理・利活用していく地元中心の団体が発足している



## 3. ひろの防災緑地とサポーターズクラブの関わり

- ・同クラブは、**ひろの防災緑地**を“**創り、育て、守っていく**”という概念の下に結成された組織。
- ・広野町、県と3者で**ひろの防災緑地づくり**の協定を結んでいる。
- ・**ひろの防災緑地**の設計から携わり、協力して活動を進めてきた。（設計段階のワークショップ（以下WS）参加者が同クラブに発展）

○ひろの防災緑地サポーターズクラブについて

- ・会員数約80名（H29.1.26現在）
- ・地元の有志ほか、学生、企業、など会員構成は様々
- ・平成27年12月に広野町、県と協定締結

○これまでのクラブの活動

### ①防災緑地設計WSに参加



- ・全4回開催したWSでは、植栽する樹種やゾーニングを話し合った
- ・**防災緑地をどのように利活用できるか**を考え**防災緑地**のコンセプトを決定

### ②ひろの防災緑地の管理・利活用に係るWSを開催



- ・前回のWS参加者が集まりクラブ発足
- ・公園である**防災緑地**の活用方法やどこまで管理できるかを討論
- ・最初の参加者は10名程
- ・先進地である「千年希望の丘」を視察

### ③「どんぐりプロジェクト」を実施



- ・広野町のどんぐりを拾い、ポットに植え付け
- ・クラブのメンバーのほか、広野小学校、当事務所で育てた
- ・育てた苗木は、広野小学校の児童と**防災緑地**内に植樹

### ④植樹祭を実施



- ・参加人数はスタッフを含め約700人
- ・内堀知事、遠藤町長、岩城法務大臣ほか来賓の方々にも参加いただいた

### ⑤点検パトロール開始



- ・H28.12.7の供用開始後、**防災緑地**をパトロール
- ・パトロール結果は、**防災緑地**の修繕に活用
- ・**どこまで自分たちでできるか**を模索中

## 4. これからのひろの防災緑地とクラブのあり方

- ・同クラブで**どこまでできるのか**を考えながら、**防災緑地**の維持管理・利活用を3者で協力し、楽しみながら行っていく
- ・現在の事務局機能＝富岡土木事務所

事務局をクラブへ移管し、NPO化を目指す

駆け足にならないように、時間をかけて進めていく